

自己評価				学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善策	
重点課題	担当部・課	重点目標	評価指標と活動計画		学校関係者の意見	今後の改善策	
地域とともにある学校づくり	特別活動課	(全校レベル) I) 地域交流及び地域貢献活動の展開 II) 地域と連携した教育活動の推進と理解啓発 <下位組織レベル> ① 児童生徒会役員を中心に、地域の人と交流を図ったり、児童生徒の作品や製品を紹介したりする。	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評定) A (所見) ① 来場したたくさんの方が木工作品のハンチを休憩等に使用してくださった。射的コーナーが好評で、多くの子供たちに参加してもらうことができた。本校生徒が的の狙い方やゴム鉄砲の構え方をアドバイスし、地域の子供たちと自然なかたちで交流することができた。 ② 多くの方々に作品を見ていただき、本校の取り組みを紹介することができた。また、「元気をもらった」「また開催して欲しい」などの温かいメッセージをいただき、本校の活動や児童生徒について理解啓発を図ることができた。	・阿南支援学校は数年来参加していただき、大変ありがとうございました。色々な物を展示していただき、生徒たちが生産したものを販売していただいたりしている。子どもたちと地域の人との交流では、ゲームより創意工夫をして、大変好評である。地道に交流が積み重なっている。駐車場の解放なども含めて、阿南支援学校あつてのまつりだと感謝している。ぜひ次回以降もよろしくお願ひしたい。今後はアトラクションを充実させていきたいと考えているので、アイデアがあれば申し出てほしい。 ・阿南西部公園まつりについては、色々な交流があった。今後も活動していった方がよいと思う。	① 射的コーナーが大盛況で、ストックしてあった景品が全て無くなったため、早い時期から作成する必要がある。景品に阿南支援学校らしきを入れ、家庭に持ち帰った際も参加してくれた子どもたちが話をし、阿南支援学校の活動について広めてくれるような工夫が必要である。来年度も引き続き参加し、さらに地域の人々と交流していきたい。 ② 多くの人々が日常的に利用している商業施設で作品展を行うことで、様々な方々に児童生徒の作品を見ていただくことができた。来年も是非と店長さんから声をかけていただいたので、来年度も店舗にご迷惑をおかけすることのない運営を心がけて作品展を実施し、今後も継続して開催できるようにしていきたい。
			①-1 児童生徒会役員を中心に、地域の催しに参加して地域の人と交流を図ったり、学校の活動についてや児童生徒の作品、製品等を紹介したりすることができる。(年間1回以上)	① 9月に開催された阿南西部公園まつりに児童生徒会役員と役員以外の高等部の生徒数名が参加し、木工作品や竹紙についての展示、ゲームコーナーの催しを行った。(年間1回参加)			
			①-2 地域のショッピングセンター又は施設で児童生徒の作品展示を行い、児童生徒の活動の様子を紹介することができる。(作品展を年間1回開催)	② 1月にフジグラン阿南において、「みんなのアート展あなんしえん」を開催し、児童生徒の作品を展示した。(年間1回開催)			
			活動計画	活動計画の実施状況			
①-1 児童生徒会役員を中心に、「阿南西部公園七夕まつり」等の地域の催しに参加し、地域の人と交流を図ったり、作品や製品を紹介したりする。	① 木工の授業で作った作品を展示し、来場者にイスやテーブルを使用してもらった。また、高等部の活動についての動画や竹紙の作業に関するパネルを展示し、学校の活動について紹介した。射的のゲームコーナーを設け、無料で地域の子供たちにゲームに参加してもらい、交流した。						
①-2 地域のショッピングセンター又は施設で、児童生徒の作品展示を行う。	② フジグラン阿南において、6日間「みんなのアート展あなんしえん」を開催した。全校児童生徒の様々な作品を展示し、地域の方々に見ていただいた。アンケートにもメッセージを書いていただいた。また、学校紹介パネルも設置し、本校の活動について伝えた。						

* 「評定」の基準 A：十分達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった